

第9回 6/19 (土) (遠隔授業) の内容

第9回の授業では、以下の手順で、附属3中学校を対象として、GoogleEarthProを用いて、3地点の位置を示すKMZファイルと、3中学校の空中写真を示すPowerPointファイルを作成して、Moodleで提出する。提出期限は、6/21(月)の24時である。

①GoogleEarthProのインストール

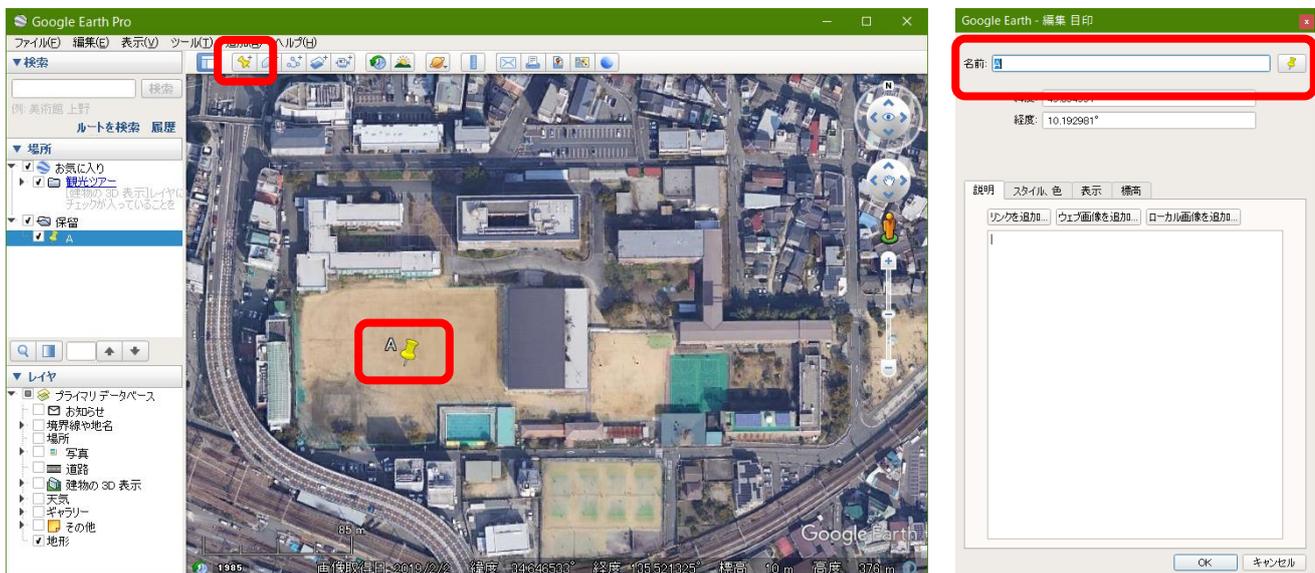
GoogleEarthProをインストールしていない場合は、公式サイトからダウンロードして、インストールする。公式サイトへのリンクとインストールの方法の説明書はMoodleの第8回にある。

①3地点を探す

GoogleEarthProを起動して、附属3中学校を探す。

②目印の作成

附属3中学校を見つけたら、GoogleEarthProの画面上部にあるアイコンから「目印」をクリックして、1つ目の附属中学校(天王寺, 平野, 池田のいずれか, どれでもよい)の校庭の中央付近をクリックする。そうすると、クリックした地点に目印が表示され(下左図), 「目印」ウインドウ(下右図)が表示されるので, 「名前」に「A」と入力して「OK」をクリックする。そうすると, 目印の横に「A」が表示される。同様にして, 2つ目の附属中学校と3つ目の附属中学校を作成して, それぞれ名前を「B」, 「C」とする。



③3地点のKMZファイルの作成

3つの目印が入力できたら, 以下のようにして, それら3地点の目印のKMZファイルを作成する。まず, GoogleEarthProの画面上部にあるメニュー(次ページ左図)から「追加」をクリックして表示される「フォルダ」をクリックする。そうすると, 新規フォルダウインドウが表示されるので, 「名前」に, 対象とした州の名前と氏名(例えば, 「附属中学校山田周二」)と入力して「OK」をクリックする。

そうすると, 画面左に, フォルダーのアイコンと入力した名前が表示されるので(次ページ中図), その上に表示された「A」を右クリックして表示される「コピー」をクリックして, 先ほど作成したフォルダ(附属中学校山田周二)をクリックして「貼付け」をクリックする。同様にして, 「B」, 「C」もコピーしてフォルダに貼り付

ける。そうすると、次ページ右図のように、フォルダの下に A, B, C が表示される。

そして、そのフォルダ（附属中学校山田周二）を右クリックして表示される「名前を付けて場所を保存」をクリックする。そうすると、ファイルの保存ウインドウが表示されるので、適当な保存場所を指定して、保存する（ファイル名はそのまま（附属中学校山田周二）で良い）。以上で、3地点の KMZ ファイルが作成される。

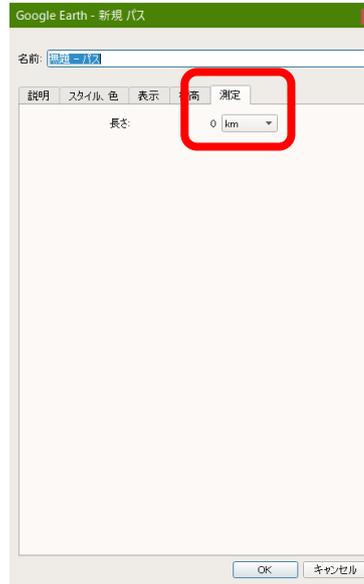
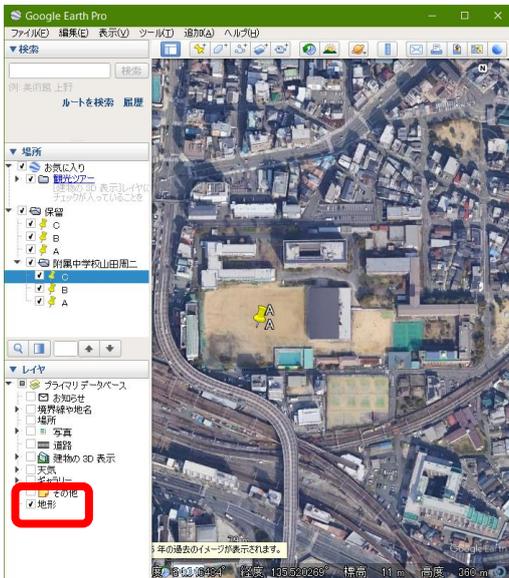


④ 景観写真の JPEG ファイルの作成

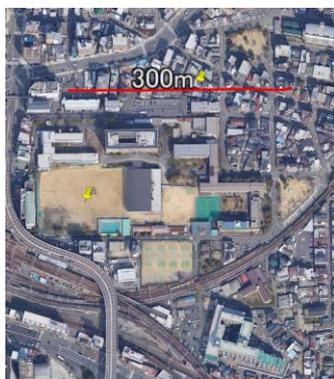
つぎに、以下のようにして、景観写真の JPEG ファイルを作成する。まず、GoogleEarthPro の画面左に表示された「A」をダブルクリックすると、画面右に A 地点が拡大して表示されるので、その景観がよく分かる大きさに拡大する。「Shift」キーを押しながらマウスをドラッグすると、視点が移動して斜め上からの景観を見ることができるので、必要に応じて、視点を移動する。ただし、斜め上から地形を立体的に見るには、画面左下にある「レイヤ」(下図左)の中にある「その他」左の▶をクリックして表示される「地形」右の□をクリックして、チェックが入った状態にしておく必要がある。

景観写真の大きさや視点が決まったら、以下のようにして、縮尺を入れる。まず、画面上部のアイコンの中から「パス」をクリックして表示されるパスウインドウ（下中図）の「測定」タブをクリックする。そして、距離単位の右に表示された▼をクリックして「km」をクリックする。そして、A 地点の目印のあたりをクリックして、そこからある程度離れたところをクリックすると、その距離がパスウインドウに表示されるので、きりの良い距離になるまでクリックして線を伸ばして、きりの良い数字になったらダブルクリックする。その時にパスウインドウに表示された距離を、記録しておく。そして、「スタイル、色」タブ（下右図）をクリックして、色を赤色に、幅を「3」にして「OK」をクリックすると、赤線が表示される。

線が入力できたら、先ほど (A~C) と同じ要領で、縮尺を示す線の上に目印を追加して、「名前」に先ほど記録した距離を単位とともに記入して（例えば「300 m」）、「OK」をクリックする。そうすると、目印の横に入力した距離が表示される。

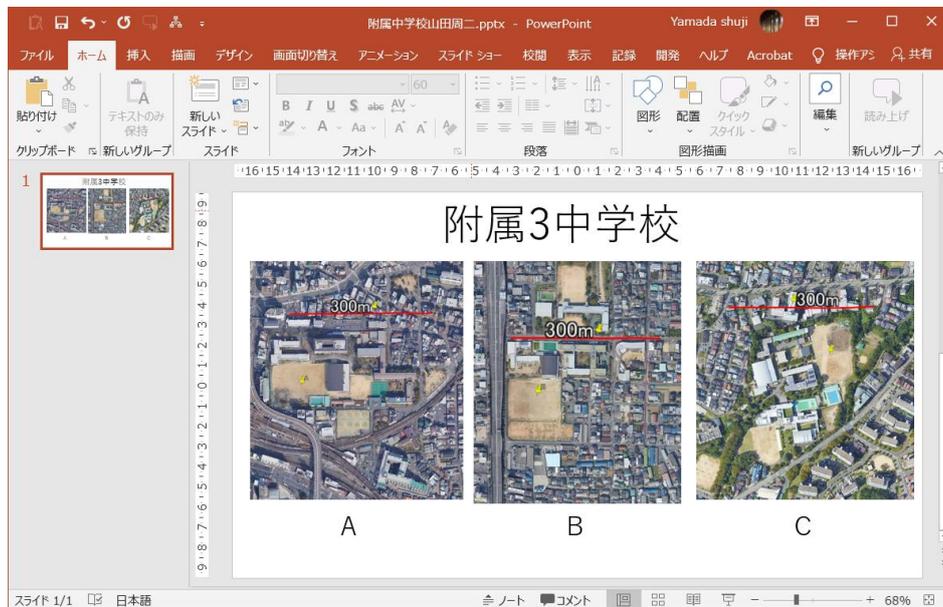


以上で、縮尺が入力できたので、以下のようにして Windows の Snipping Tool を利用して、GoogleEarthPro で表示された景観写真を、下図のように切り出して JPEG ファイルで保存する。まず、GoogleEarthPro を、画面（ディスプレイ）一杯に表示して、切り出したい景観を適切な大きさと視点で表示する。そして、スタートメニューをクリックして表示される「Windows アクセサリ」をクリックして表示される「Snipping Tool」をクリックする。そうすると、Snipping Tool が起動するので、「新規作成」をクリックする。そうすると、画面が半透明になるので、景観写真として切り出したい範囲の左上端をクリックしたまま、切り出したい範囲の右下端に移動して、左ボタンを離す。そうすると、囲った範囲が、Snipping Tool のウィンドウに表示されるので、メニューの「ファイル」をクリックして表示される「名前を付けて保存」をクリックする。そして、適当な保存場所を指定して、「附属中学校 A 山田周二」のようなファイル名で保存する。同様にして、B, C の景観写真も JPEG ファイルで保存する。



⑤PowerPoint スライドの作成

景観写真の JPEG ファイルが作成出来たら、以下のようにして、下図のような PowerPoint のスライドにする。まず、PowerPoint を起動する。そして、新しいプレゼンテーションを開いて、メニューの「挿入」をクリックして表示される「画像」をクリックして、先ほど作成した 3 つの JPEG ファイルを挿入する。挿入した 3 つの景観写真を 1 枚のスライドに配置して、写真の上に「附属 3 中学校」、写真の下に、A, B, C と記入する。そして、適当な保存場所を指定して、「附属中学校山田周二」のようなファイル名で保存する。



⑥作成したファイルの提出

以上で作成したファイルのうち、KMZ ファイルと PowerPoint ファイルを、Moodle の課題の提出ボックス（第9回）に、6/21（月）の24時までに提出する。